

令和 6 年度 第 2 回 津市教科用図書調査研究委員会 議事要旨

1 日時

令和 6 年 7 月 1 8 日 (木)

午前 9 時 0 0 分から午後 5 時 0 0 分まで

2 場所

津市教育委員会庁舎 4 階 教育委員会室

3 出席者

津市教育長		森 昌彦
津市教育委員会委員		西口 晶子
校長代表		
津市立北立誠中学校	校長	山川 雅己
津市立橋北中学校	校長	奥田 幸伸
幼稚園代表		
津市立安濃幼稚園	園長	信田 直子
保護者代表		
津市 P T A 連合会		橋爪 秀貴
		上村 聖子
事務局		
学校教育部長		伊藤 雅子
教育研究・情報教育担当副参事		山下 尊仁
教育研究支援課主幹		駒田 健志
教育研究支援課副主幹		本多 史明

4 事項

- (1) 開会・会長挨拶
- (2) 令和 6 年度 第 1 回 津市教科用図書調査研究委員会 議事要旨の確認
- (3) 教科書展示会の報告
- (4) 議事
 - ア 各種目別調査員会による調査結果等の報告及び令和 7 年度使用中学校用教科用図書採択候補について
 - (ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答
 - (イ) 採択候補について

(ウ) 調査研究結果の検討

(5) その他連絡事項

(6) 閉会

5 各事項の要旨

(1) 事項(1)について

開会 森会長より開会挨拶

会 長：今日は、第1回調査研究委員の議事要旨の確認、教科書展示会の報告、そして、調査員からの調査結果等の報告を受け、調査研究結果の検討を行う予定となっています。津市の中学生たちが使用する教科書として最もふさわしいものが採択されるために皆様のお力添えをいただくようお願いします。一日という長い時間になりますが、委員の皆様には、忌憚のない御意見をお出しいただき、活発に協議いただきますようお願いいたします。

(2) 事項(2)について

「資料1 令和6年度 第1回 津市教科用図書調査研究委員会 議事要旨」が承認された。

(3) 事項(3)について

事務局から「資料2 教科書展示会の報告」のとおり説明があった。来会者は117名であった。

委 員：小学校関係者・中学校関係者・保護者・教委関係者以外の参会者はだれか。

事務局：地域の方です。例えば、リージョンプラザでボランティア活動をされている方、津市図書館をよく利用されている方です。

(4) 事項(4)について

ア 各種目別調査員会による調査結果等の報告及び令和7年度使用中学校用教科用図書採択候補について

種目ごとに、各見本の調査報告及び質疑・応答、採択候補について、調査研究結果の検討という順番で協議を行った。

なお、各教科用図書見本の特徴を中学校用教科用図書調査実施項目結果一覧表にまとめ報告した。

【数学】

(7) 各見本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査実施結果一覧表

委員：令和2年度から学習指導要領は変わっていないが、今回の教科書は内容として随分変わっているのか。

代表：全体的に二次元コードが増えた。対話を促すところが増えた。例えば、啓林館は教科書が薄くなった。これはなぜかという、二次元コードをうまく活用して紙のボリュームを減らしている。単に重さを軽くするだけでなく、巻末にあった補充問題を二次元コードにして、単元内の問いのすぐ横に置くという工夫が見られる。そうすることで、個の学習進度に寄り添った学びができるようになっていく。

委員：東書の「深い学び」について説明していただいたが、それに対応するような啓林館の「深い学び」を取り扱った対応ページはあるか。

代表：例えば、啓林館の「未来へひろがる数学3」のP30、P31が対応している。同じ「式の計算の利用」の所だが、P31には「ステップ1 状況を整理し、問題を設定しよう」「ステップ2 解決の見通しを立てて、問題を解決しよう」といった形で配置されている。単に解くだけではなくて学習プロセスに重きをおいていることが明らかな箇所である。

(4) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査報告書（選定案）

（啓林館：未来へひろがる数学）

委員：前回に続き、今回も啓林館を採択した。特に啓林館以外で悩んだのはどこか。

代 表：東京書籍である。それは、二次元コードの数だけではなく、内容構成の面でも両者を比べて悩んだ点である。決定打になったのは、見方・考え方がしっかりと定着できるように繰り返して学ぶことができる工夫が啓林館には見られる。子どもたちはタブレット端末を文房具のように使えるようになっているので、そんな啓林館の教科書をどのように計画的に活用するかという観点が大切だと考える。

(ウ) 調査研究結果の検討

啓林館の「未来へひろがる数学」が選定案として決定された。

【音楽】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査実施結果一覧表

<一般>

<器楽合奏>

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査報告書（選定案）

<一般> （教芸：中学生の音楽）

<器楽合奏>（教芸：中学生の器楽）

(ウ) 調査研究結果の検討

委 員：教芸は内容がしっかりとしているように感じた。見やすさの部分については、教出が写真もたくさんあって見やすいとは感じた。ただ、教科書を使う中学生の実態を考えると説明のあったように教芸がふさわしいと考える。

委 員：言われるように教出の方が興味を惹くかと思う。楽譜の見やすさはやはり教芸が見やすい。例えば「赤と

んぼ」「大地讃頌」の楽譜を見ても教芸が見やすい。
教芸の「中学生の音楽」と教芸の「中学生の器楽」とが選
定案として決定された。

【道徳】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査
報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査実施結果一覧表

委 員：日文の道徳ノートは今も付いているのか。そして、
その使い勝手はどうか。ノートが付いていることで
負担になることはないか。

代 表：今も付いている。現行のものは道徳ノートには発問
まで書いてある。そのため、授業によっては考えさ
せたいのはここではないと感じることもあった。し
かし、今回は、空欄になっている。ワークシートを
個別に印刷してファイルに閉じていくよりも、この
道徳ノートがあることによって、考えを書き込んだ
り、ワークシートや補助資料を張り付けたりするこ
ともできる。そのため、改良されたこの道徳ノート
はあった方がありがたい。

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査報告書（選定案）
（日文：あすを生きる）

(ウ) 調査研究結果の検討

日文の「あすを生きる」が選定案として決定された。

【社会・地図】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査

報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査実施結果一覧表

<地理的分野>

<歴史的分野>

<公民的分野>

<地図>

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査報告書（選定案）

<地理的分野>

（帝国：社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土）

<歴史的分野>

（帝国：社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き）

<公民的分野>

（帝国：社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して）

<地図>

（帝国：中学生社会科地図）

委員：今回は全て帝国になっているが、まとまった方が学校の先生方は教えやすいのか。

代表：教科書を1つ1つ吟味しながら選定案を作成したので、揃えることには重きを置いていなかった。ただ、調査後は、構成が同じものになっているので、帝国に揃っていることの利点もあるという意見もあった。

委員：学習指導要領が変わっていない中で、敢えて歴史と公民を変えるという判断をしたことは大きいと感じる。調査員のみなさんは、それだけこの帝国の教科書に惹かれたのか。

代表：東書は、今使っている教科書であり、先生方は、もうワークシートや資料が作ってある状態である。しかし、敢えて、帝国の方が魅力を感じた。特に魅力を感じたのは、アクティブ歴史、アクティブ公民で

ある。また、実際の社会にある実状を教材に扱っている箇所も魅力的であった。これらをもとに、帝国の教科書を選定したい。この教科書でもっと学びたい・学ばせたいという調査員の思いがある。子どもたちが個別で考え、それをもとに対話をするという流れも分かりやすい。また、どの者の教科書も参考書や資料集の購入が必要ないぐらいの仕上がりになっている中、帝国は、二次元コードや思考ツールも充実し、子どもたちが、自分たちで学びを選択できる幅も見られる。このような点に調査員は魅力を感じていた。

委員：確かに用いられている絵には、惹きつけられるものがある。中学校3年生の気持ちになっても探究したくなる気持ちにさせると感じる。確かに帝国は教科書を見たくなる感じがした。

委員：学習指導要領が変わっていない中で、敢えて歴史と公民を変えることは大きい。しかし、今の説明にあったように、子どもが興味をもって学べるというのであれば、そこを大切にしたい。学校へは、例えば、アクティブ歴史、アクティブ公民といった箇所で扱われている学習内容にきちんと迫っていくような活用の仕方を促していく働きかけも必要だと考えた。また、今回の各者の教科書を見てみると、資料として充分であると感じる。資料集の購入での家庭への負担は同時に考えなければならないとも感じた。

(ウ) 調査研究結果の検討

委員：先生方のやる気がこの教科書に向いているとのことだったので、帝国を採択するのがよい。

委員：選定した教科書を学校でどう活用するかが大切である。先生方が学校で使うという観点を大事にしたい。子どもたちが教科書に用いられている絵を見てどう対話するかも期待したい。

帝国の「社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土」、

帝国の「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」、
帝国の「社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して」、
帝国の「中学生社会科地図」が選定案として決定された。

【英語】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査実施結果一覧表

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査報告書（選定案）

（東書：NEW HORIZON English Course）

委員：東書と三省堂を比べた時に、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫と、生徒の興味関心を生かした自主的・自発的な学習を促すための工夫ということは重要な点であると考えている。そこは、三省堂の方が評価が高い。ここを説明してほしい。

代表：東書と三省堂の2者で最終的にどちらかという風を選定を考えた。どちらも大事な部分については網羅していた。決定的であったことは小中の接続で考えた時に、東書の方が、三省堂よりも学習の接続をかなり重視していた。この点が大きい。

(ウ) 調査研究結果の検討

委員：先ほどの話を聞いていて、東書はUNIT1～4を用いて、小学校からの接続を大事に扱っているという点が重視されていると感じたので、選定通りでどうか。

委員：確かに、学びのとめ直しを東書は重視している。

東書の「NEW HORIZON English Course」が選定案として決定された。

【技術・家庭】

(ア) 各見本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

※参照：

令和 7 年度使用中学校用教科用図書調査実施結果一覧表

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

※参照：

令和 7 年度使用中学校用教科用図書調査報告書（選定案）

<技術分野>

（東書：新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る
Technology）

<家庭分野>

（東書：新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して）

委員：技術分野は様式 1 を見ても結構はっきりと評価が分かれている。家庭分野について、東書を選定したい理由を説明してほしい。

代表：家庭分野は、技術分野程、際立って東書という評価ではなかった。しかし、家庭分野の東書は、例えば、二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツの量が多く、全体的に資料が豊富である。そのため、子どもたちが主体的に学ぶ時に、これらの資料を使った学びは東書が一番よいと感じたことが決め手となった。

委員：家庭分野は他者と比べて大差がなくなっていると感じてよいか。

代表：そのように捉えている。

(ウ) 調査研究結果の検討

東書の「新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」と東書の「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」が選定案として決定された。

【美術】

(7) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査実施結果一覧表

委員：日文だけ3冊。ここの差については話されたのか。

代表：日文は3冊ありながら、重さが軽い。紙の種類が、他と違い、配慮されていると感じている。しかし、美術の授業では、教科書を最初から順に行うのではなく、絵画彫刻・工芸デザイン・鑑賞のバランスを取りながら選択して取り組んでおり、単元によって持ってくる教科書を毎回変えている。そのため、光村の教科書のように美術1と美術1資料とが分かれているような構成の教科書が学校では使いやすいと捉えた。

(4) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査報告書（選定案）

（光村：美術1 美術1資料 つくってみよう見よう
美術2・3）

委員：決定的な選定理由は何か。

代表：僅差であったが調査員全員が光村を選定したいとなった。体感へのこだわりをもっているのが光村だと捉えたからである。美術という教科が学校の中で果たせる役割を考えた時にフィジカルを大切にしている光村がよいと考える。

(9) 調査研究結果の検討

光村の「光村：美術1 美術1資料 つくってみよう見よう
美術2・3」が選定案として決定された。

【保健体育】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査実施結果一覧表

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査報告書（選定案）

（東書：新しい保健体育）

委員：大日本も検定の対象か。

事務局：対象である。

委員：東書と他者の違いは何か。

代表：他者の場合は、二次元コードからいくつかの問題を読み込むことができるようになっているが、東書は、デジタルコンテンツに加えて別の参考資料も読み込むことができるようになっている。そこが、差として調査結果に出ている。

(ウ) 調査研究結果の検討

東書の「新しい保健体育」が選定案として決定された。

【理科】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査実施結果一覧表

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査報告書（選定案）

（啓林館：未来へひろがるサイエンス）

委員：今の週時間配当は何時間か。これだけの分量を終えられるのか。

代表：週 3 時間である。例えば、実験は全てこちらが用意するわけではない。子どもたちに選択させて実験させる工夫もしている。いかに配当時間以内で考えさせ、結果を見比べさせるのかという点も大事にして、配当時間内で教科書の学習内容は網羅するようにしている。

(ウ) 調査研究結果の検討

啓林館の「未来へひろがるサイエンス」が選定案として決定された。

【書写】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

※参照：

令和 7 年度使用中学校用教科用図書調査実施結果一覧表

委員：書写の授業時間は年間何時間か。

代表：1・2 年生は 20 時間程度、3 年生は 10 時間程度です。

委員：教科書のお手本は半紙の大きさか。半紙の下に教科書を敷くことはできるのか。

代表：それはできないように、半紙より少し小さく作られている。

委員：では、手本は見ながら書いているのか。

代表：子どもたちは見ながら書くことで字のバランスを取りながら書いている。

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

※参照：

令和 7 年度使用中学校用教科用図書調査報告書（選定案）

(光村：中学書写 一・二・三年)

(ウ) 調査研究結果の検討

光村の「中学書写 一・二・三年」が選定案として決定された。

【国語】

(ア) 各見本本の調査報告及び質疑・応答

調査員代表から各発行者の教科用図書見本本についての調査報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査実施結果一覧表

委員：授業を進めていく上でのポイントとなる箇所について説明いただいたが、文学・説明文・詩・古典といった教材数について、4者の差はいかがか。

代表：教材数は変わらない。重要な教材というのは基本的にはどの者も同じで、例えば、文学教材で言えば、「少年の日の思い出」は4者とも入っている。また、3年生においては「故郷」が入っている。説明文の内容は時代によって変わるものであると捉えている。

委員：古典については変わらないと思うが、物語文は扱われているものが結構変わるのか。

代表：現代の作家の作品も扱われている。また、前回の光村では単元の中で扱われていたものが、今回は資料として扱われるようになったという変化も見られた。

(イ) 採択候補について

調査員代表より選定案に沿って報告があった。

※参照：

令和7年度使用中学校用教科用図書調査報告書（選定案）

（光村：国語）

(ウ) 調査研究結果の検討

委員：三省堂だけが行数を示す点が付いていない。これは、こういった点を工夫することに流れがあるのかもしれないと感じた。

光村の「国語」が選定案として決定された。

(5) 事項(5)について

その他連絡事項

調査員からの報告と調査研究委員会での協議内容を、8月23日(金)及び8月26日(月)の教育委員会に報告することが承認された。

また、教育委員会には、事務局員とともに調査員代表も出席し、調査結果等について報告することが確認された。

(6) 事項(6)について

閉会

事務局から閉会挨拶

部長：本日はお忙しいところ、かつ、暑い中、長時間にわたり、ご協議をいただき、誠にありがとうございました。みなさまに選んでいただきました、令和7年度から津市の中学校において使用する教科書につきましては、公正確保の徹底に努め、適切な調査・研究を行っていただきました。ありがとうございました。先ほど、事務局からもありましたように、御協議いただき、決定しました内容をまとめ、8月23日(金)と8月26日(月)に行います教育委員会において、ご報告をさせていただきます。今後とも、津市の教育のために、御指導、御助言を賜りますよう、どうぞよろしくお願いします。本日は誠にありがとうございました。

以上、令和6年度 第2回 津市教科用図書調査研究委員会の議事要旨とする。

令和6年度 津市教科用図書調査研究委員会

会長

森 昌彦

副会長

西口 晶子